

マスギャザリングと感染症

— 感染症から自分もみんなも守る —

感染対策ニュース

2020年東京オリンピック・パラリンピック開催

2019年の年末以降の新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の世界的流行は未だ収束に向かっておりません。

国際的スポーツイベントなどが行われる際は、世界各国から多くの人が集まる「マスギャザリング」(集団形成)と呼ばれる状態となり、感染症の流行が起きやすい環境になります。これまでも、国際的なイベントで集団感染が生じているため、予防対策が重要となります。直接会場には移動しなくても、ヒトの移動により全国に影響が広がる可能性があります。感染症はCOVID-19だけではなく、



リスクがある場所へ行かないことが一番の予防策ではありますが...

東京からの移動者も増える可能性が考えられます。

2021年度第1号

2021年6月

編集・発行

市立宇和島病院

ICT

家族を含め、ワクチン接種をしましょう。

感染経路の例



ペットボトルの
回し飲み



食器の
共有



キスなどの
肌の接触



寮やシェアハウス等
狭い場所での共同生活



多くの人が集まる
フェスやイベント会場



スポーツ
(特に団体競技)

手指衛生 (手洗い・アルコール消毒)



- ・こまめに流水でしっかり洗う
- ・乾いた手に速乾性のアルコール剤を使う

マスク装着 (サージカルマスク)



- ・咳やくしゃみなどの症状がある人が付ける (感染拡大の防止)

ワクチン接種の検討



- ▼ 麻しん (はしか)
- ▼ 風しん
- ▼ 侵袭性髄膜炎菌感染症 など